

こうとう くしていぶん かざいしょうかい
江東区指定文化財紹介

こうとう くしていゆうけいぶん かざい けんぞうぶつ
江東区指定有形文化財（建造物）

しんおおはしおやばしら
新大橋親柱

しんおおはしひがしづめこうえん しんおおはし めいじ どうきょうし
新大橋東詰公園（新大橋1-2）には、明治45年（1912）、東京市によ
こうてつきょう か か さい けんぞう おやばしら げんそん
り鋼鉄橋に架け替えられた際に建造された親柱が現存しています。

おやばしら せんとうぶぶん しんこてんしゅぎようしき じょう しょうめい しちゅう
親柱の尖塔部分は新古典主義様式のおベリスク状、照明の支柱にはアールヌー
ちょう からくさもんよう とうじ けんちく げいじゅつ ちょうりゅう はんえい いしょう
ボー調の唐草文様と、当時の建築・芸術の潮流が反映された意匠、さらに
ちゅうしんぶぶん だ しあ とうじ こうほう つた しあ めいじき けんぞうぶつ
中心部分は「こぶ出し仕上げ」で当時の工法を伝えており、明治期の建造物とし
きちょう ぶんかざい
て貴重な文化財です





いちず げんざい
位置図 (現在)



しんおおはしおやばしら ほどこ いしょう こうほう
新大橋親柱に施された意匠・工法



じょう せんとうぶぶん
オベリスク状の尖塔部分



しょうめい しちゆう
アールヌーボー調の照明の支柱



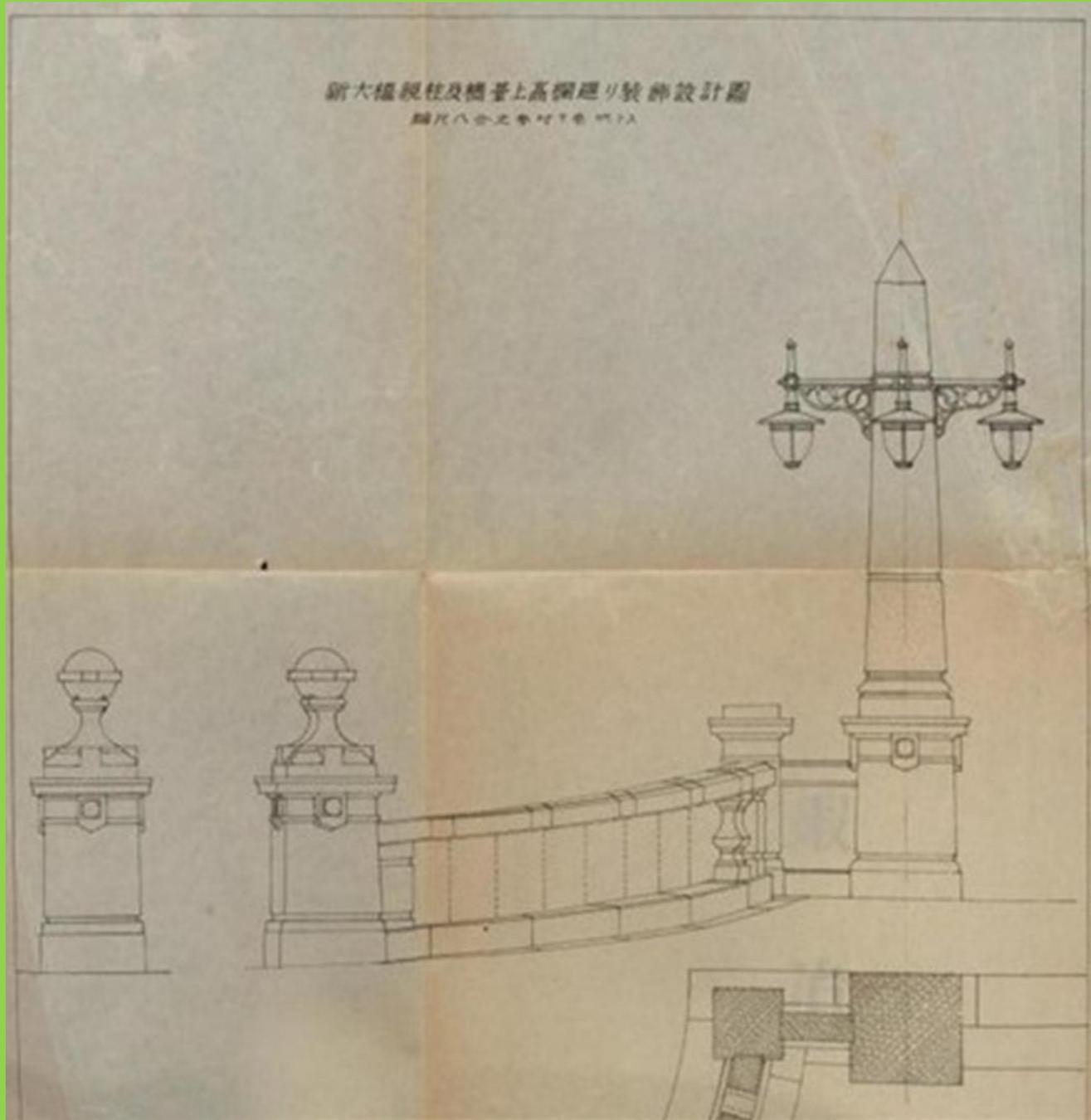
だ しか
こぶ出し仕上げ

しんおおはしおやばしら しょうさい てんじ
新大橋親柱の詳細については、展示ケー

がい したまちぶんか さんしょう
**ス外の『下町文化』No. 309をご参照くだ
 さい。**

新大橋親柱及橋臺上高欄廻り裝飾設計圖

編凡八合之卷付三巻四ノ入



「台上高欄廻り裝飾設計」『東京市ノ橋梁 図名第一』